

# 農福連携 研修会



株式会社 ふくしごと

株式  
会社

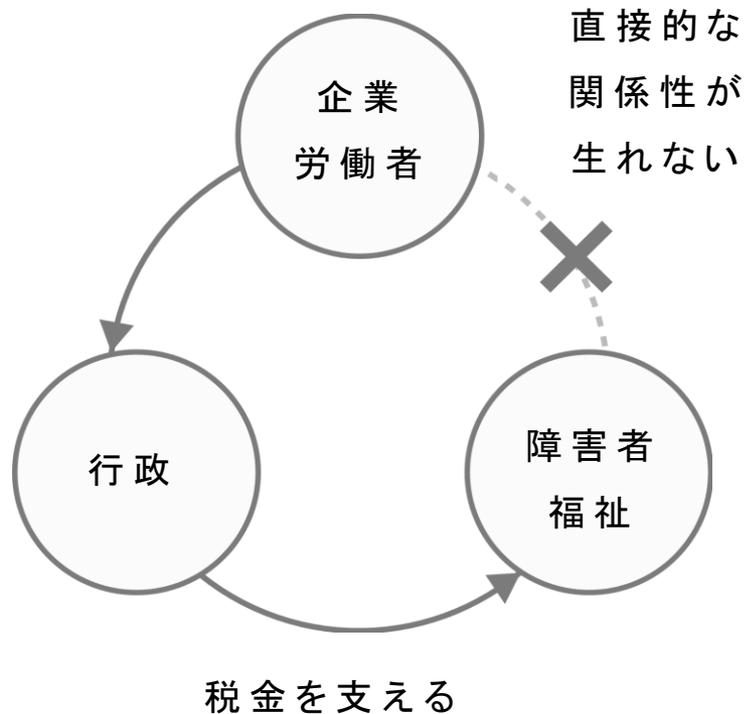
ふくしごと

これからのしごとをしよう

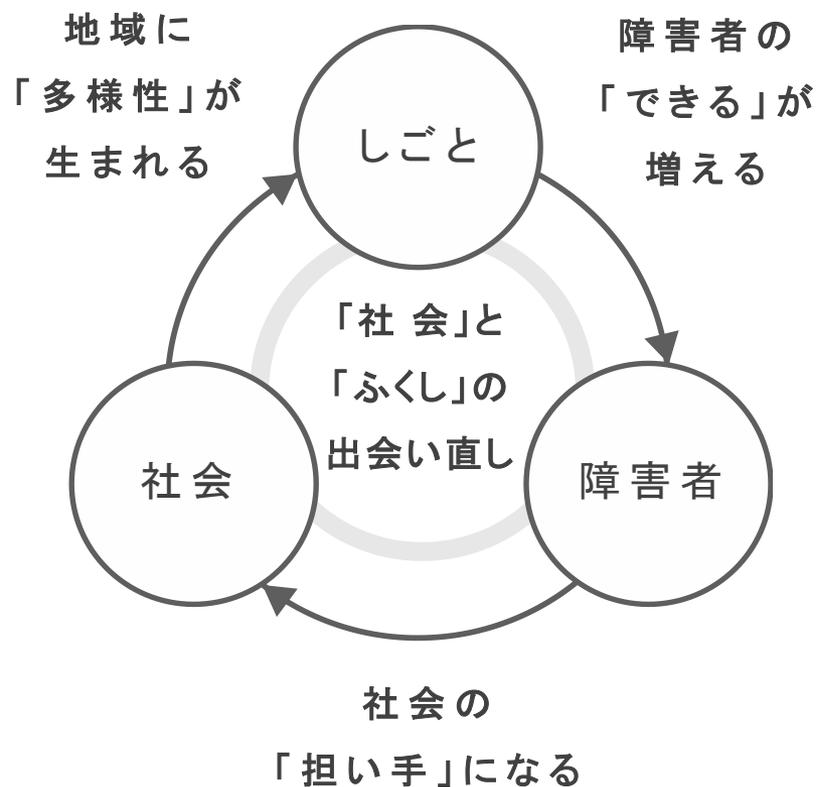
多様な人としごとをすると  
新しい働き方が見えてくる。  
一緒に生み出すしごとへ、  
さあ、ゆたかに働こう。

# ふくしごとの考え方

〈これまでのふくし図〉



〈これからのふくし図〉



# 農福連携の基礎



# 【農福連携】

「農業」における課題(担い手不足等)と、  
「福祉」における課題(働く場が少ない等)を

双方に解決していく取り組み



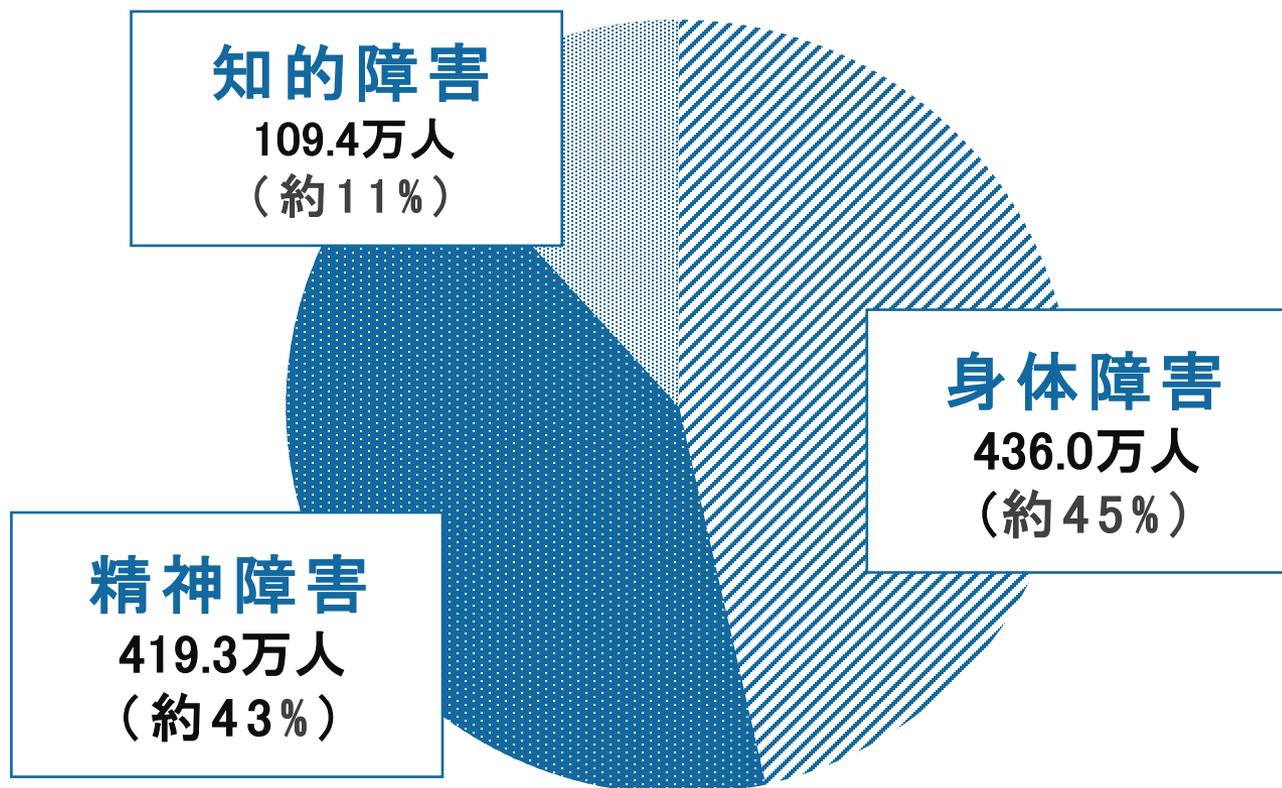
# 1 農業・福祉 それぞれの現状

# 障害福祉の現状



# 障害者の現状（全体）

現在日本の「障害者」の人数は、  
約964万人 / 日本人口の7.6%



資料: 令和3年版障害者白書(全体版)より弊社にて作成

# 障害者の現状（全体）

## 身体障害

肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、呼吸器機能障害、内部障害など

## 精神障害

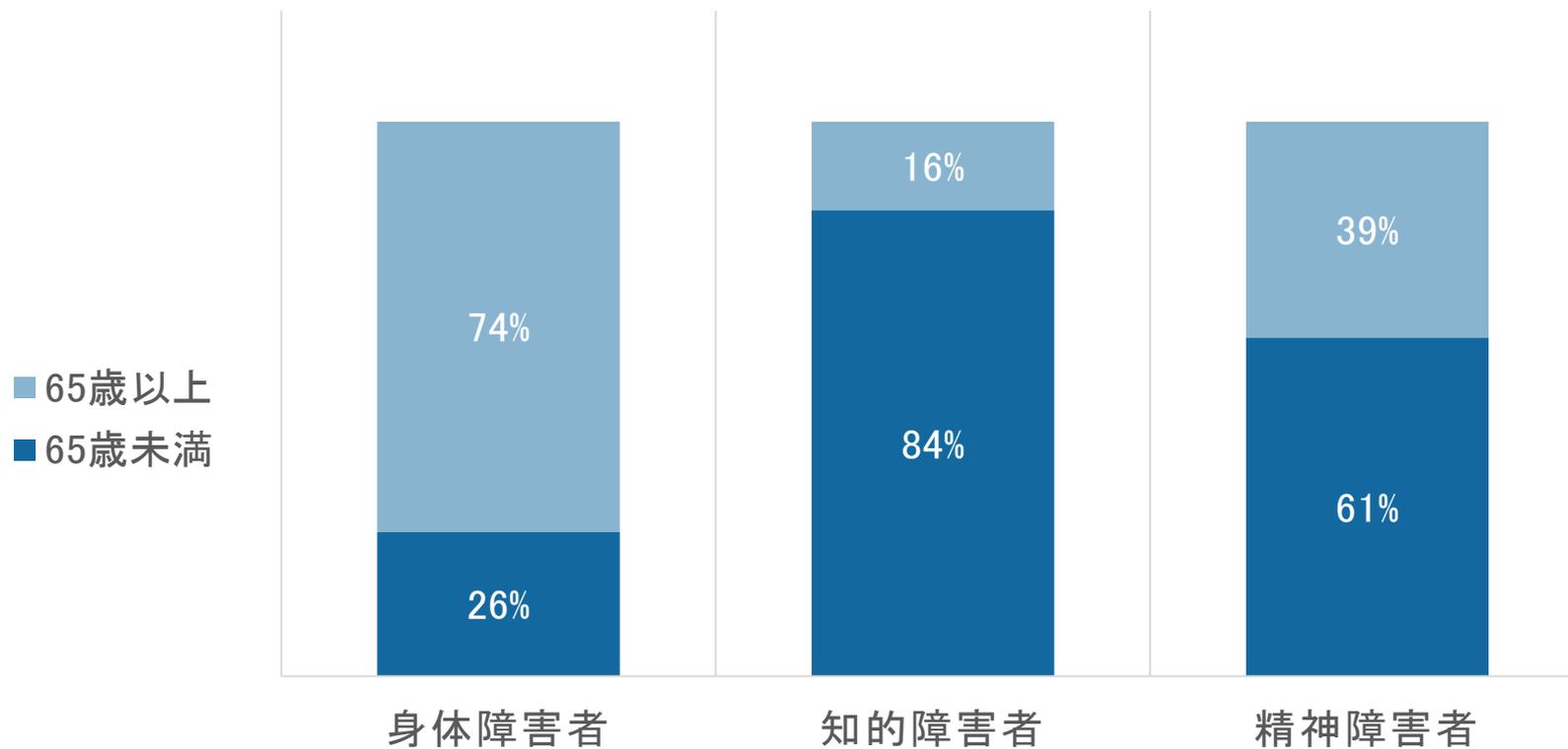
統合失調症、うつ病、パニック障害、性機能障害、薬物依存症など

## 知的障害

知的機能に制約がある、適応行動に制約を伴う、発達期に生じる障害

# 障害者の現状（全体）

## ■ 障害別・年齢層

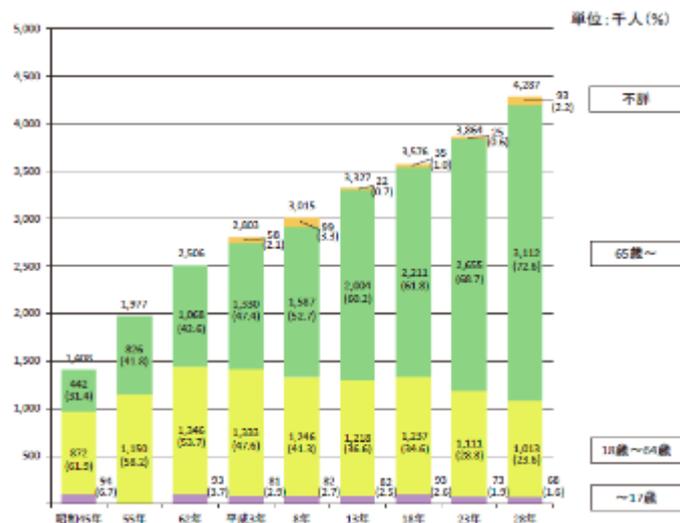


資料：令和3年版障害者白書（全体版）より弊社にて作成

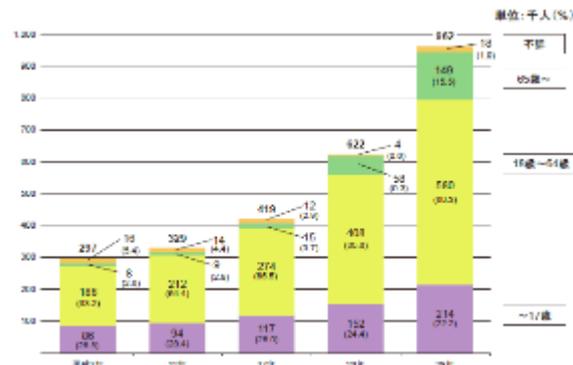
# 障害者の現状(全体)

## ■ 年齢別障害者数の推移

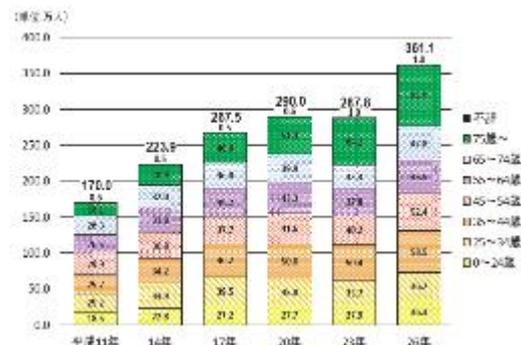
### 身体障害児・者 (在宅)



### 知的障害児・者 (在宅)



### 精神障害児・者 (在宅)



資料: 令和3年版障害者白書(全体版)

どの種目の障害者数も増加。  
→これから高齢化が進むにつれ、障害者数はさらなる増加が予想される

# 障害者の現状（雇用状況）

## ■ 就労支援事業所の数



約2万事業所

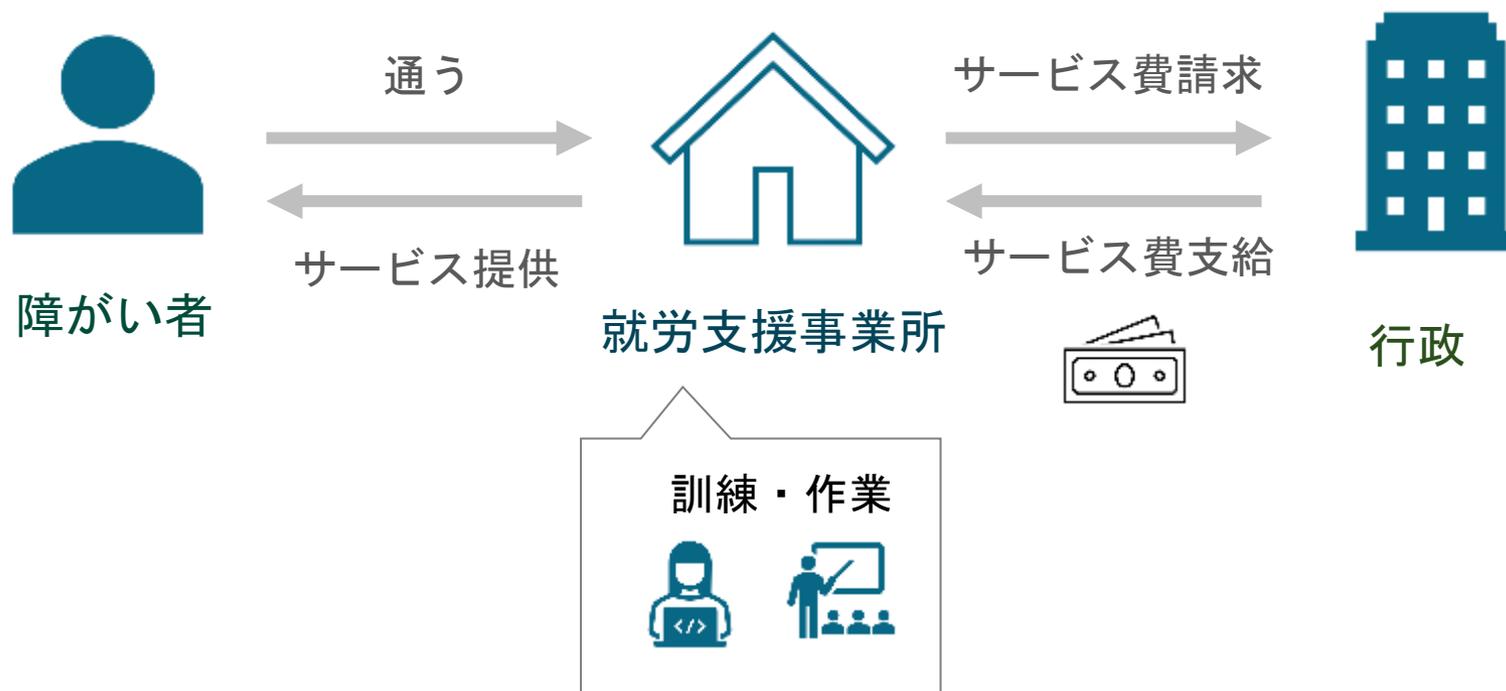


国内のローソンの数  
1万4千店舗



利用者：約37.5万人

# 就労支援事業所とは？



# 障害者の現状（雇用状況）

## 障害者就労における制度

	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
目的	就職するために必要なスキルを身につける	働く場	
対象者	一般企業への就職することを希望する方	現時点で一般企業への就職が不安・困難な方	
雇用契約	なし	あり	なし
利用料・賃金	基本なし (場合によりあり)	給料あり 利用料を支払う場合も有り。	工賃あり 利用料を支払う場合も有り。
月額全国平均収入	なし	平均79,625円 (R2年度)	平均15,776円 (R2年度)
年齢制限	65歳未満		なし
利用期間	原則2年間	なし	

# 障害者の現状（雇用状況）

就労支援事業所で働く障害者数

37.5万人

---

就労継続支援B型

26.9万人（70%）

---

就労継続支援A型

7.2万人（20%）

---

就労移行支援

3.4万人（10%）

---

R2厚生労働省資料より

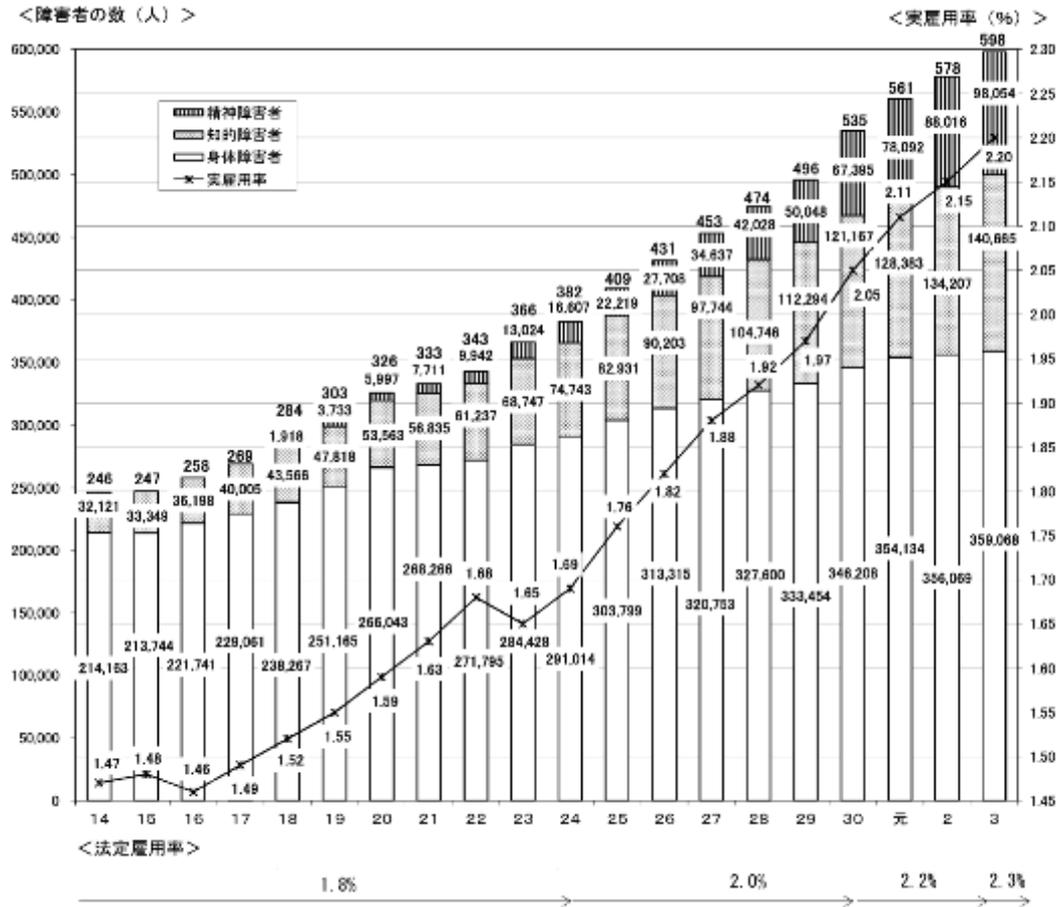
# 障害者の現状（雇用状況）

## 企業等で働く障害者数：59.7万人

（身体障害者33.3万人、知的障害者11.2万人、精神障害者5.0万人）

法定雇用率2.3%達成企業割合（43.5人以上の企業）50%以下

(1) 実雇用率と雇用されている障害者の数の推移  
 <障害者の数（人）>



## 障害者の現状（雇用状況まとめ）

就労支援事業所で働く障害者数

37.5万人

---

企業等で働く障害者数

59.7万人

---

仕事を通じ社会参画する障害者数

97.2万人

日本の障害者964万人（約10%）  
18歳～64歳の障害者362万人

---

**仕事の選択肢が少ない**

**月額平均収入が低い**

**月額15,776円**

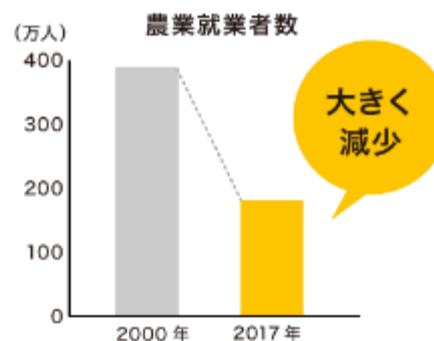
（R2 就労継続支援B型 全国平均）

# 農業の現状

The image shows a rural agricultural scene. In the foreground, there are rows of large, green leafy plants, likely a type of vegetable or leafy green, growing in a field. The plants are arranged in neat rows, with some rows appearing to be covered in a light-colored material, possibly mulch or a protective layer. In the middle ground, there is a cluster of small, simple buildings, including what looks like a white house with a red roof, a smaller white structure, and a building with a rusted metal door. There are also some utility poles and power lines visible. The background is dominated by a large, densely forested hill or mountain, with trees in various shades of green and some autumnal colors. The sky is overcast and grey.

# 農業の現状（農業の課題）

## ■ 農業人口の推移



## ■ 農業就業者の平均年齢



	2000年	2010年	2017年
農業就業人口	3,891	2,606	1,816
平均年齢	61.1	65.8	66.7

# 農業の現状（農業の全体）

## ■ 売り上げ規模別の分布

		売上規模	経営体数	構成比	増減率	
		50万円未満	35.5万	34.50%	-7.60%	家族経営規模 約95%
		50～100万円未満	17.0万	16.50%	-3.40%	
1千万未満 90万 87.4%		100～500万円未満	28.7万	27.80%	-3.10%	
		500～1,000万円未満	8.8万	8.60%	-3.80%	
		<b>1,000～3000万円未満</b>	8.7万	8.50%	<b>1.50%</b>	
		3,000～5,000未満	2.1万	2.00%	<b>4.00%</b>	
		5,000～1億円未満	1.4万	1.30%	<b>6.10%</b>	
1千万以上 13万 12.6%		1億円以上	0.8万	0.80%	<b>6.30%</b>	

出典：農林水産省「令和3年農業構造動態調査結果」（令和3年2月1日現在）

合計103万

## 2 農業者が 取り組む農福連携

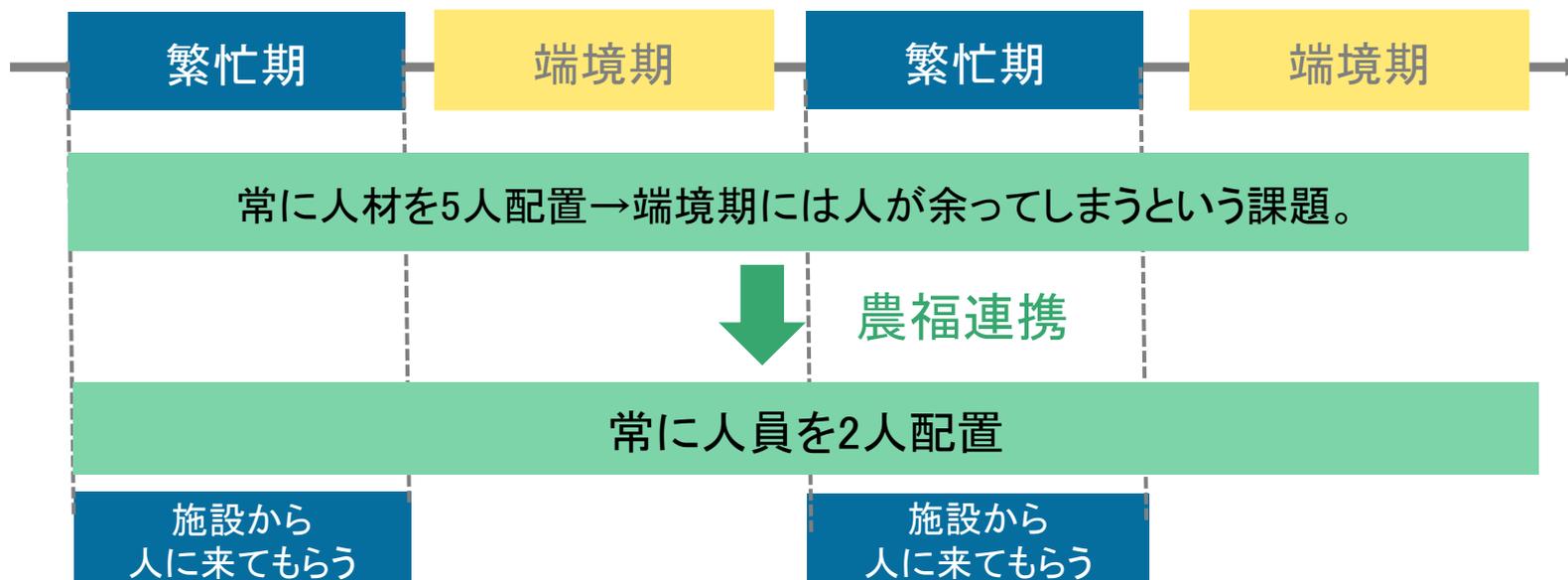
# メリットは 2つ！

労働力  
の  
確保

作業の  
効率化

# 労働力の確保が可能

繁忙期のみ施設に仕事を頼むなどの柔軟な対応により、人員配置の適正化に成功する事例も増えている



# 作業の効率化

農業者の経験値で行っていた属人化された作業が、障害のある方もできるように見える化することで、作業が明確になり作業が効率よく行える。

また、何をどこまで行なうかがパートや初めての方にもわかる形になり、指導時間も減る。



# 年間売上額の増加

農福連携に取り組む126の農家等に対して行われたアンケート調査の結果、

5年前と現在の年間売上額に関する質問では、受け入れ後「年間売上額が上がった」との回答が78%を占めている。

また、収益性に対する効果については

「大きな効果あり」17%、「効果あり」46%、「どちらかといえば効果あり」20%と、

あわせて83%が売り上げの向上についての効果を実感している。



出典: 一般社団法人日本基金「平成30年度 農福連携の効果と課題に関する調査結果」

どのように取り組めばいいの？

# 農家の農福連携の取組方法

A 福祉施設へ依頼する

B 直接雇用する

C 就労支援事業を行う

# A 福祉施設へ依頼する

障害者就労施設などと作業請負の契約を結び、作業を委託する方法です。

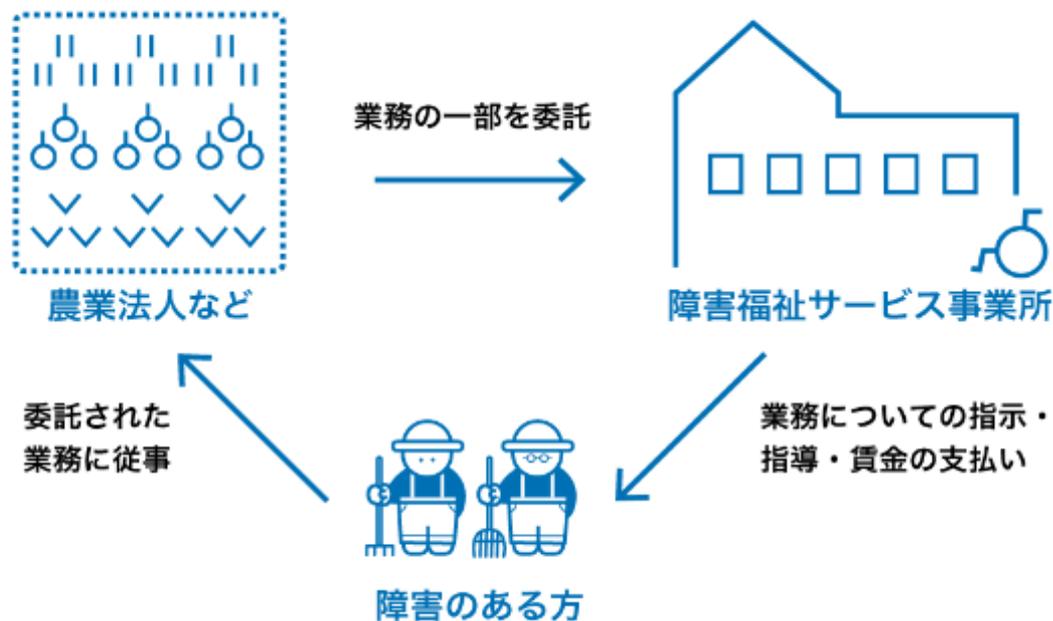
いきなり雇用するには不安がある場合、繁忙期など限られた時期に仕事を依頼したい場合などに向いています。

また、業務拡大を考える上でも、6次化を行う場合に、設備投資せず施設へ発注するなどの連携が可能です。

## A 福祉施設へ依頼する

# パターン1 農地に来てもらう

障害のある方と支援員さんセットで農地に来てもらい、作業をお願いするパターン  
(福祉用語では「施設外就労」といいます)



## A 福祉施設へ依頼する

# パターン2 施設へ作業をお願いする

農地でなくてもできる作業を外注するパターン

例：施設が袋詰め作業を行う。



**「作業委託」**

## A 福祉施設へ依頼する

### 「社会福祉法人新友会 ひまわり畑」(A型・B型/大分県大分市)

- ・年間500tの漬物を生産
- ・地域の農家から高菜や白菜を仕入れて漬物やキムチに加工
- ・OEMで他社商品を請け負ったり、自社で商品販売もおこなう



## A 福祉施設へ依頼する



## A 福祉施設へ依頼する



## B 雇用する

直接雇用は、障害者を直接雇用する方法です。  
障害者への作業指示や労務管理なども直接農業者が行います。  
そのため、障害者とのコミュニケーションに慣れた方向けの雇用方法です。

障害者はできることも人によって違うので、  
まずは任せたい仕事を明確にして、作業可能な人を見つけることが大事です。

## B 雇用する

### 京丸園株式会社（浜松市）

- ・スタッフは3割以上が障害者
- ・毎年1名ずつ障害のある人を採用し、毎年新しい仕事の仕方を生み出す
- ・障害者雇用数の増加とともに売上が増加。約6500万円から、約2億8000万円と4倍以上



## B 雇用する



# 先進事例紹介

## B 雇用する



## B 雇用する

障害者を雇用できる経営体へ変化



農業を強くすることができ、  
高齢者も女性も誰もが働きやすい産業へ  
**ユニバーサル農業**

## B 雇用する

従来代表者のみに対応していた作業



作業分解や作業手法の改善により  
障がい者が全て担えるようになった



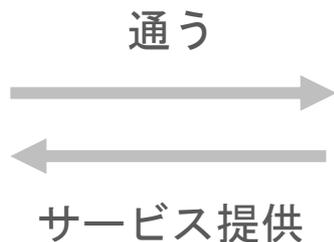
代表者が  
組織作りに注力できるようになった

## C 就労支援事業を行う

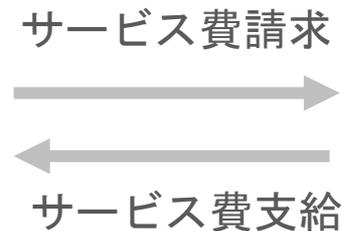
一定規模以上の売り上げを目指している農業法人において、福祉事業所を立ち上げて人材確保を行うことの可能性があります。

人手が必要な下処理の作業や選果作業に、安定して人員を確保させることができ、業務拡大を考えることに繋がります。

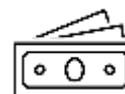
# 就労支援事業所とは？



就労支援事業所



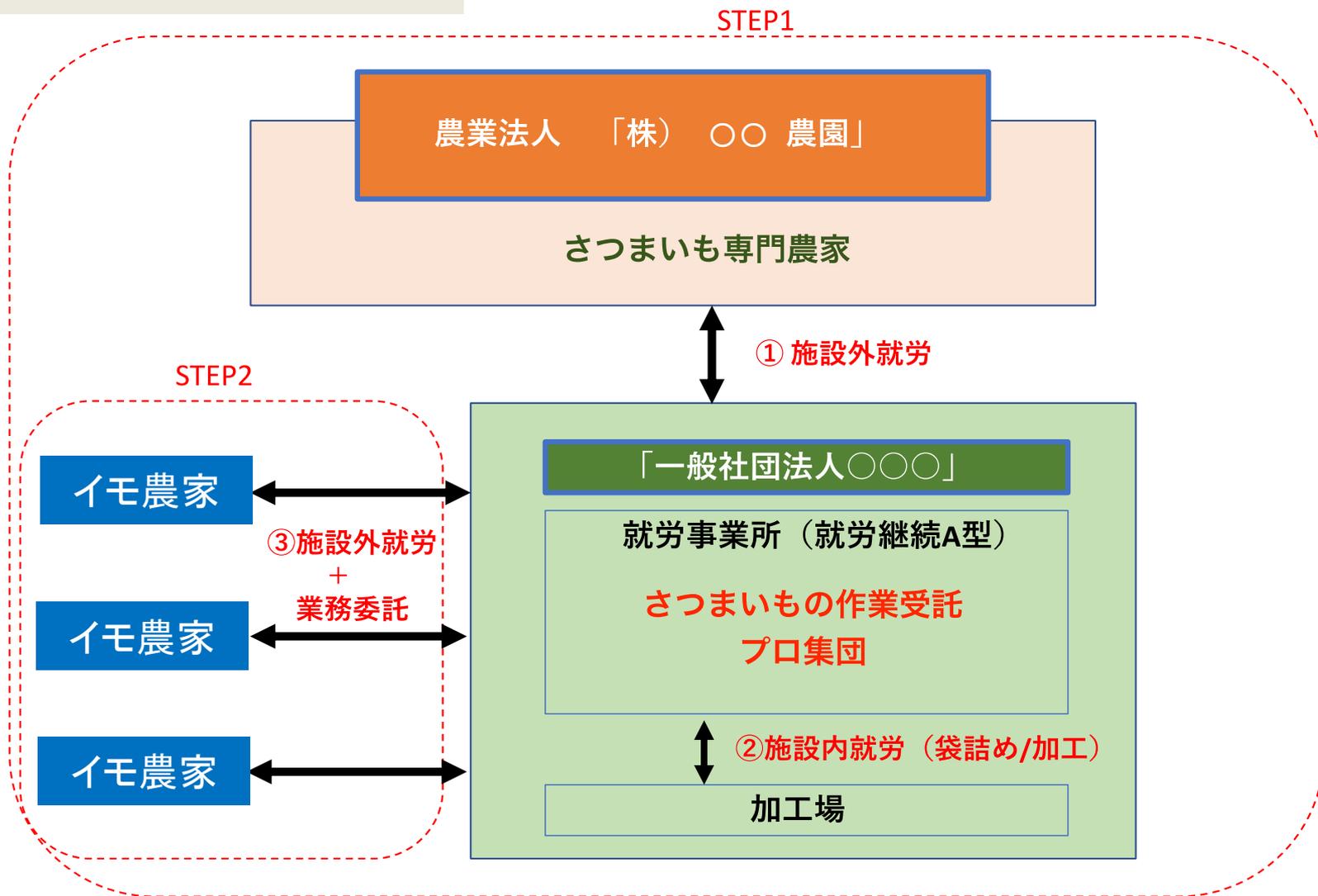
行政



訓練・作業



## C 就労支援事業を行なう



## 株式会社ONEGO

農家が就労支援事業所と連携し新会社を設立。  
年商が10倍になった事例。



# 先進事例紹介





株式会社  
SANCHO

生きづらさ  
働きづらさのない  
世の中を創る。

## 就労継続支援A型事業所

- ・TANOSHIKA FARM: 植え付け・水やり・草取り・収穫・包装など
- ・TANOSHIKA CREATIVE: WEB制作・動画編集・パンフレット作成など
- ・TANOSHIKA PLUS: EC事業・清掃事業など



数量限定 いちご あまおう アイス 冷凍

**【ふるさと納税】数量限定 いちご あまおう  
2.5kg 冷凍 無添加 無加糖 送料無料**

商品番号 Fi203

販売期間 2022年10月01日00時00分～2023年03月31日23時59分

[販売開始・終了前に通知を受け取る](#)

10,000円

100ポイント(1倍) 内訳



送料無料

東京都への最安送料

宅配便

[送料無料ライン対象](#)

[すべての配送方法と](#)

※ログインすると、登録した都道府県の最安送料

※最安送料での配送をご希望の場合、注文確認

※離島・一部地域は追加送料がかかる場合があ

8,000円で購入可!

(楽天カード入会&ポイント利用)

39ショップ

1. ふるさと納税専用のページです。送  
る注文者情報を住民票情報とみなしま

理解した

2. 寄付金の用途を選択



販売先を  
市場→ふるさと納税へ

先に販路を確保し、  
足りない分は  
仕入れて販売。

# 農福連携を始めてからの変化

## ● 作付面積

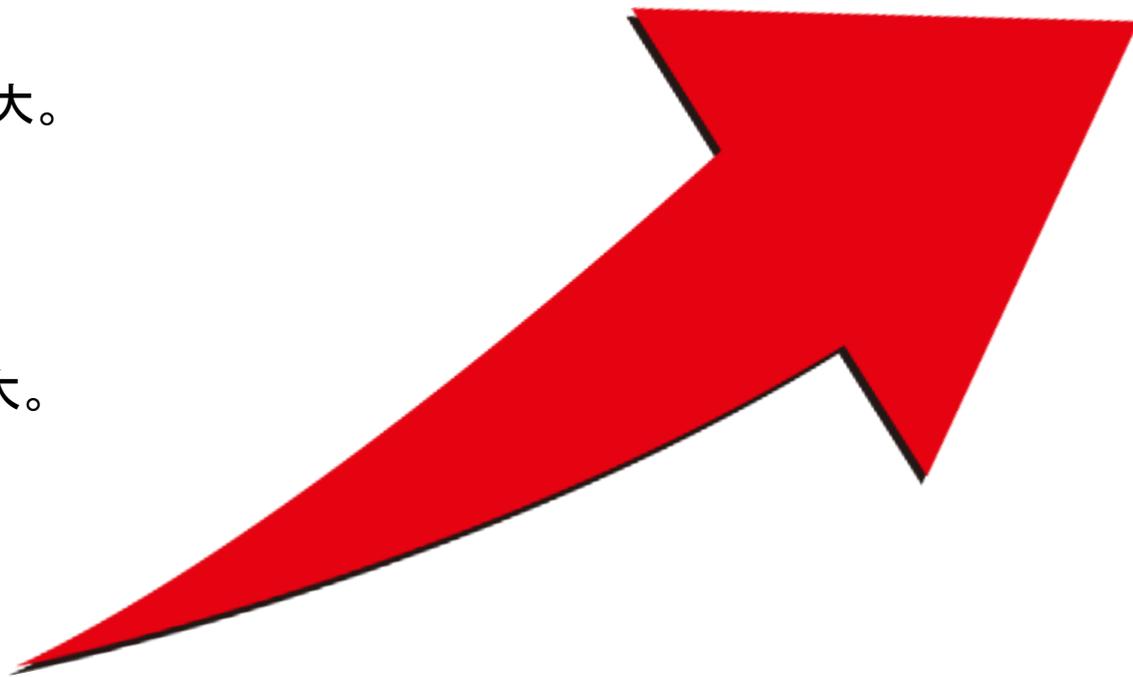
20a から **60a** に拡大。

## ● 従業員数

3名から **11名** に拡大。

## ● 売上

2年で **10倍** に！



# 目指す農福連携の形

- ・福祉を取り入れることで農業を強くする
  - ・障害のある人もない人も、  
みんなが働きやすい環境をつくり、  
賃金をしっかり渡す

# 3 福祉事業所が 取り組む農福連携

# 就労事業所における農福連携

---

成長する農業  
の取組み

## A 自社にて生産・販売を行う

- ・事業所が自分で田畑を持ち農作物を生産し、販売を行う。

農家との  
連携

## B 受注業務

- ・福祉施設内で農業法人から委託されたの業務を行う。  
(例:加工、選果、箱組立、パソコン入力等)

## C 施設外就労

- ・農業法人内で作業を行う。  
(例:加工作業、検品、仕分け、袋詰め、箱組立、清掃、除草作業、  
パソコン入力等)
- ・障がい者への指示や指導は、事業所の職員が行う。

成長する農  
業の取組み

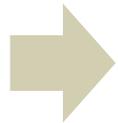
### A 自社にて生産・販売を行う

#### 【課題】

1. 職員の負担が大きい割に利益が出にくい
2. 売り先が無い
3. 障害者に適した仕事かわからない



## 2. 売り先がない



### 売り先を見据えた栽培品目選定

福祉施設では、多品目栽培がよく見受けられます。  
生産計画は無く、収穫量も不明な場合もあります。

初めに、

- ・どこに対して何を販売するか【売り先】を検討

した上で、

- ・栽培品目を選定し、

- ・生産計画を立てて栽培していくことが重要です。

# 課題に対する解決策

## 3. 障害者に適した仕事がわからない

### ➔ 農作業の整理・見える化

農作業をどのように行なっているかメモを取り、整理をすることが重要。そして資料化し、誰もがわかる形でストックする。

ミニトマト年間カレンダー

2021/3/5 室温25°C

	期間 (日)	人数 (人)	備考	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1 撤去	7	7														
2 肥料	2	7														
3 土攪らし(トラクター)	1	1														
4 畝作り	3	4	男のみ													
5 ビニール張り太陽熱消毒	1	5	1ヶ月間・70°													
6 ビニール撤去	1	5														

#### 9 錠剤をまき定植

粒剤をまいて位置を確認しながら、苗を植えていきます。ハウス内が暑いので大人数で素早く作業します。

期間：1日(2時間)  
人数：15人  
作業時期：8月



おまけ

## 就労事業所における農福連携

---

農家との  
連携

B 受注作業

C 施設外就労

### 【課題】

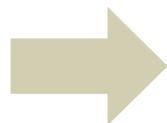
1. 作業負担が大きい割に利益が出にくい
2. 農家からの仕事のもらい方がわからない

# 施設外就労・受注作業を行う場合の課題

---

## 2 農家からの仕事のもらい方

受注作業



納品体制を作る

- ・効率よく納品できるように体制をつくる
- ・どこまで作業を受け持てるかで発注金額の単価が大きく変わる

▼選果体制を整えている例



▼加工設備を揃えている例



施設外就労



発注先とうまく連携できる体制を作る

(例)働く障害者の特徴をまとめ、渡す



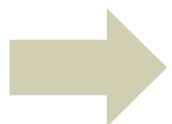
「農作業の見える化」「作業細分化」  
実践手法の概要

# 農福連携での悩み事

1. 障がい者とどう関わっていいか分からない
2. 障害者にどんな仕事を  
お願いすればいいか分からない



# 1. 障害者とどう関わっていいか分からない



## 障害の概論・基礎知識をつけましょう

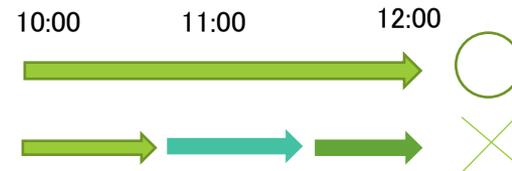
受け入れ側に基礎知識があれば、受け入れる際の不安がなくなり、安心して障害者と共に働くことができます。

# 障害の概論や基礎知識の一例

---

## 作業の指示の仕方について

決められた時間内は同じ作業の繰り返しをすることで、作業中の質問が減り、集中することができます。

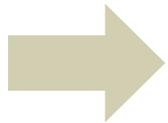


## コミュニケーションにおける配慮

「いつもありがとう」など、仕事に対する感謝の気持ちの声かけをすることで、仕事へのモチベーションが上がり、良いパフォーマンスを発揮することができます。口頭で褒めることと感謝の気持ちを伝えることが大切です。



## 2. 障害者にお願いする仕事の切り出し



### 農作業の整理・見える化

農作業をどのように行なっているか整理をすることが一番重要。  
そして資料化し、誰もがわかる形でストックする。



## ポイント

---

- ・障害者が働きやすい環境づくり
- ・障害者が従事する仕事の切り出し



**誰もが働ける環境を整えることに繋がります！**



## 株式会社なかせ農園【A施設と連携、B直接雇用】

熊本県

農園名:株式会社なかせ農園

従業員数:7名(内1名は障害者)

栽培品目(作付面積):さつまいも(11ha)



## 【独自ブランド「蔵出しベニーモ」】



## 障害者雇用 1名



知的障害を持つが、多くの作業をこなせるようになっており、選果場作業だけでなく、ほ場での機械による収穫作業の補助等も担っている。

## 就労支援施設への作業委託

- ・作業場、貯蔵倉庫などでの作業に従事。
- ・苗床ハウスでの苗切り作業、収穫された房の状態の芋を一個一個切り分ける作業、芋の重さによる選別などを行なう。



就労継続支援事業所への作業委託状況

区分	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月											
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
農閑期を除く	4名									農閑期									4名																										
農繁期										6名(苗植付期)									6名(収穫期)																										
計	4名									10名									なし									10名									4名								

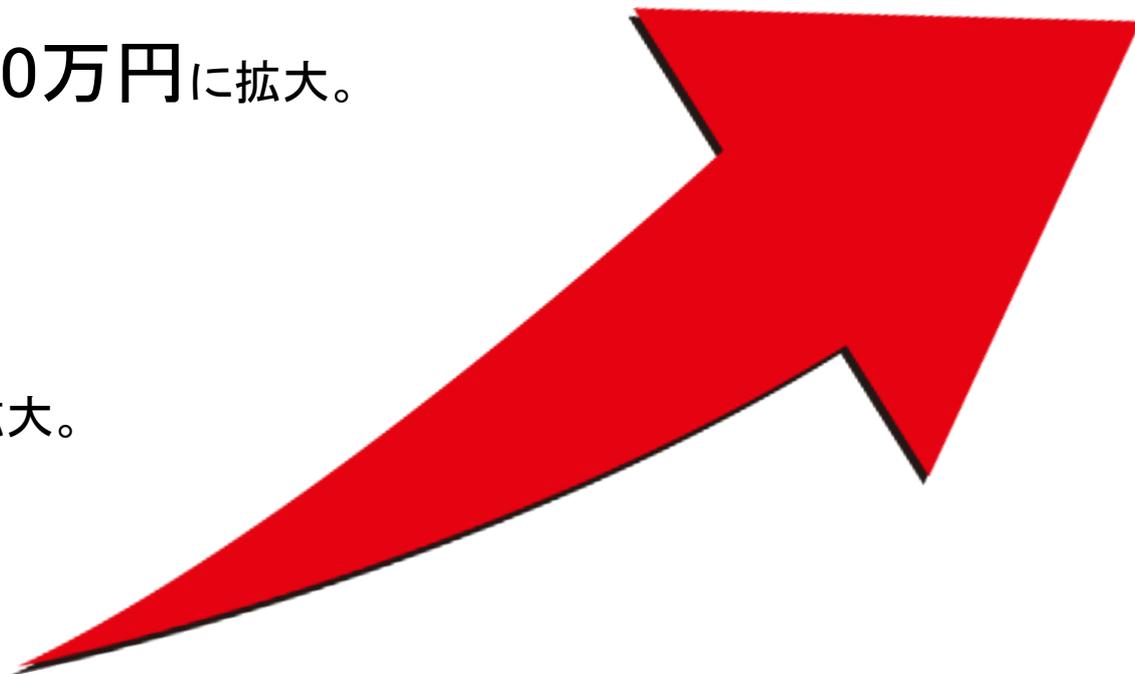
# 農福連携を始めてからの変化

## ● 売上規模

2,000万円から 7,000万円に拡大。

## ● 作付面積

4haから 11ha に拡大。



# 農福連携を始めてからの変化

## ● 労働形態

就労時間 8:00～21:00

就労時間 9:00～17:00

人員5名(家族+1P)

人員9名+A型4-10名

収穫計画 無(気合)

収穫計画 有

**繁忙期でも週休1-2日！面積拡大しても例年より早く終了！品質も向上！！**

# 農作業の見える化・マニュアル作成について

株式会社なかせ農園  
中瀬靖幸さん



これまでの農家経営においては経営者自身も畑に出るべきだと言われてきましたが、時代は変わり、個人事業主として経営を成り立たせるためには、業務の切り分けが必要不可欠になっていると感じます。

障害者雇用のために作っていただいたマニュアルでしたが、今は、この業務の切り分けに非常に役にたっています。

# マニュアルが具体的に役に立った場面

## ◎説明時間が半分に削減！

パートや障害者、取引先への説明時間が削減することができた。

## ◎金融機関や行政等への説明がスムーズに！

業務フローの説明がスムーズになり、信頼度が増した。

結果、融資や助成金など受けやすくなった。

## ◎社内のコミュニケーショントラブルが減った！